

Q 前橋市の令和2年度決算を家計簿にしてみると、どうなりますか？

A 市税などを年収500万円とした場合、次のようになります。

収 入					
令和2年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
自主財源	市税など	791億8,950万円	年収	500万円	41.2%
	基金取崩	30億8,779万円	預金引き出し	19万円	1.6%
依存財源	国・県支出金、交付税など	956億7,480万円	親からの援助	604万円	49.8%
	市債	142億 110万円	ローン借り入れ	90万円	7.4%
合 計		1,921億5,319万円	合 計	1,213万円	

支 出					
令和2年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
義務的経費	人件費	212億2,142万円	食費、通信・交通費など	134万円	11.3%
	扶助費	340億4,579万円	医療費・保険料など	215万円	18.1%
	公債費	153億3,855万円	ローン返済	97万円	8.2%
物件費		204億1,097万円	光熱費、被服費など	129万円	10.8%
投資的経費・維持補修費		197億2,481万円	自宅修繕・車購入など	125万円	10.5%
補助費等		478億4,614万円	クラブ活動費など	302万円	25.4%
繰出金		125億4,139万円	子どもへの仕送り	79万円	6.7%
積立金・投資及び出資金・貸付金		168億5,617万円	貯金	106万円	9.0%
合 計		1,879億8,524万円	合 計	1,187万円	

繰越金					
令和2年度一般会計決算(年額)			家計にたとえた場合(年額)		割合
繰越明許費及び事故繰越し繰越額		7億5,807万円	カード引去確定額	4万円	18.2%
財政調整基金等積立		20億円	貯金	13万円	48.0%
令和2年度予算繰越		14億 987万円	財布残金	9万円	33.8%
合 計		41億6,795万円	合 計	26万円	

○ 収入では、自主財源である「年収・預金引き出し」が42.8%に対し、国・県支出金等である「親からの援助」が49.8%も占めています。これは、国の仕事を市が代わって行っているものなどがあるからです。このため、現在、国と地方の収入割合の見直しが進められています。

○ 支出では、全体とすると令和元年度より拡大し、補助費等である「クラブ活動費など」が増加しました。

○ 繰越金については、借金返済や経済状況の変化に備えて、48.0%を貯金しました。

※この家計簿は、令和2年度一般会計決算をベースに、市税などの自主財源(791億8,950万円)を年収500万円として、これを基準に各費目を一般家庭の項目に置き換えたものです。

※数字は、集計の都合上、端数整理をしています。